

次に、地方財政計画が細部にわたり確定を見るに至ってはおりませんが、平成26年度に引き続き、大変厳しい状況での予算編成となりましたが、地域主権のもとでの国・県補助金を有効に活用し、予算を組むことが出来ました。今後も、行財政改革を推進し、徹底した経費の削減と創意工夫を図り、市民の皆様が安心・安全に暮らせるような市政運営に努めてまいります。



市政モニター会議。モニターの皆様のご意見を市政に取り入れていきます。

次に、平成25年度決算に基づき、財政分析指標においては、実質公債費比率10.3%、将来負担比率83.4%となっております。平成24年度と比較しますと、各指標とも改善しておりますが、今後も財政の健全化を進めてまいります。なお、地方債残高は、平成25年度末で、一般会計160億円、特別会計、水道会計を含めると約265億円となっております。基金につきましては、一般会計50億円・特別会計・水道会計を含めると約53億円となっております。

生活習慣病・感染症などの疾病予防やこころの健康保持についての意識啓発に取り組む。また、元氣な高齢者を増やすために、介護予防事業に取



ヨガ教室などを開催。健康づくりのため、楽しく身体を動かしています。

また、元氣な高齢者を増やすために、介護予防事業に取

◆健康づくりの推進

安心とやすらぎのある健康福祉社会づくり

また、元氣な高齢者を増やすために、介護予防事業に取

◆高齢者福祉の推進

また、元氣な高齢者を増やすために、介護予防事業に取

◆地域福祉の推進

また、元氣な高齢者を増やすために、介護予防事業に取

◆子育て支援および少子化対策

また、元氣な高齢者を増やすために、介護予防事業に取

また、元氣な高齢者を増やすために、介護予防事業に取

◆健全な財政運営の推進

また、元氣な高齢者を増やすために、介護予防事業に取

◆市民と行政による豊かな地域の自治づくり

また、元氣な高齢者を増やすために、介護予防事業に取

◆計画的・効率的な自治体運営の推進

また、元氣な高齢者を増やすために、介護予防事業に取

近年注目を集めている高峯(平沢地区)のヤマザクラ



桜川市長 大塚 秀喜

平成27年3月3日(土)の会期で開催された、第1回桜川市議会定例会で、平成27年度の市政運営に向けて、大塚市長が施政方針を述べました。本月号で、その概要をお知らせします。なお、平成27年度予算の概要については、来月号に掲載します。

現在、わが国の経済状況は、アベノミクス効果により一部に弱さも見られますが、各種施策の効果もあって、穏やかな回復基調が続いておりま

また、市債につきましては、将来の財政負担に留意し、計上いたしました。

また、市債につきましては、将来の財政負担に留意し、計上いたしました。

しかし、地方財政においては、消費税率の引き上げにより地方消費税交付金は、大幅な増額となるものの、法人実効税率の引き下げなどにより、法人市民税が減収となるほか、地方交付税も減額が見込まれるため、今後の、国の予算編成の動向を十分に注視する必要があります。

また、地方交付税のうち、普通交付税につきましては、平成26年度と同額で計上いたしました。平成28年度からは合併に伴う優遇措置が段階的に縮減され、予断を許さない状況にあります。

また、市債につきましては、将来の財政負担に留意し、計上いたしました。

桜川市の財政状況は、歳入面では、経済情勢や税制改正により、固定資産税・軽自動車税・地方消費税交付金などに増収が見込まれるものの、市民税・市たばこ税に減収が見込まれます。

桜川市の財政状況は、歳入面では、経済情勢や税制改正により、固定資産税・軽自動車税・地方消費税交付金などに増収が見込まれるものの、市民税・市たばこ税に減収が見込まれます。

また、市債につきましては、将来の財政負担に留意し、計上いたしました。

桜川市の財政状況は、歳入面では、経済情勢や税制改正により、固定資産税・軽自動車税・地方消費税交付金などに増収が見込まれるものの、市民税・市たばこ税に減収が見込まれます。

桜川市の財政状況は、歳入面では、経済情勢や税制改正により、固定資産税・軽自動車税・地方消費税交付金などに増収が見込まれるものの、市民税・市たばこ税に減収が見込まれます。

また、市債につきましては、将来の財政負担に留意し、計上いたしました。